

<地域設定メニューについて>

平成 27 年 1 月 27 日  
 広島県農業再生協議会

1 取組の名称

カバープランツによる省力畦畔管理の実施

2 取組の具体的内容

本県は、全国平均に比べ畦畔率が高く、畦畔管理にコストがかかり、規模拡大の阻害要因の一つとなっていることから、畦畔にカバープランツを植栽し、畦畔管理の除草管理に係る労働人数・労働費、資材費（農薬費、燃料費など）、減価償却費の削減を行う。

3 生産コスト低減効果

低減の内容	効果
畦畔の除草管理に係る労働人数・労働費、資材費（農薬費、燃料費など）、減価償却費の削減	2%

4 本取組を取り入れる背景及び普及の状況

広島県では、平成 12 年度以降カバープランツ導入へ向けて試験研究機関で導入植物の研究選定が行われてきた。平成 18 年度以降その研究成果を含めたパンフレットやマニュアルを作成し各地域で普及を行ってきた。

5 本取組の今後の活用の見通し

農地集積等が進められていることから、地域の農地の受け手となる担い手において、取組の拡大が見込まれる。

6 要件等の設定

取組内容	要件	報告事項及び 報告書添付書類	対象面積 の考え方
カバープランツ導入による畦畔管理のコスト低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに畦畔へカバープランツの植栽に取り組むこと。</li> <li>他から支援を受けている場合は対象外とする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報告事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①面積（計画及び実績）</li> <li>②品種、管理作業時間、植付本数（計画及び実績）</li> <li>③労働人数・労働費又は資材費・減価償却費の低減</li> </ul> </li> <li>○報告書添付書類                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真（植栽前後の畦畔状況が確認できるもの）</li> <li>・主食用米作付ほ場及び植栽をした畦畔を記したほ場図</li> <li>・作業日誌の写し（作業内容、作業人数、作業時間の確認できるもの）</li> <li>・該当取組に係る資材費（肥料費、農薬費、種苗費その他資材）が確認できる資料</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該ほ場の畦畔にカバープランツが植栽されている主食用米作付面積</li> </ul>